

会員3700人に 「頼りになる協会」へ入会

貴島正彦 組織担当副理事長



協会は9月末、会員数3700人を超えた。これもひとえに会員の先生方のご理解とご協力の賜物と感謝し、お礼申し上げます。

05年6月末に会員3600人を達成以降、これまでに264人の先生方が入会して頂きました。しかし、医療制度改悪や診療報酬マイナス改定の影響から、高齢・死亡などの退会に加え医院経営

個別指導や税務調査、医療トラブルなどの相談・対応で協会の定評を聞き、頼りになる協会へ安心を求めている人が増えています。説明会・講習会はこの2年余りでおよそ120

回実施し、参加者は8千人を大きく超えています。この秋も、多くの講習会が府下各地で開かれています。また、住民への歯の啓発と歯科医院への受診を促す健診活動は、吹田市・大阪市・枚方市・東大阪市・八尾市で企画され、現在取り組んでいます。

協会は現在、医院経営と国民の健康を守る立場から、①診療報酬の引き上げ②患者負担の軽減③乳幼児医療費助成の引き上げなどを求め、2つの院長署名と2つの患者署名、自治体への意見書採択運動を進めています。高齢者負担増の凍結

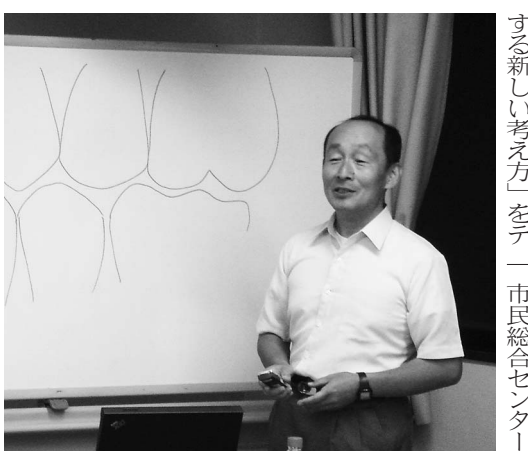
などを政府は言い出さなければならぬなど、国民運動が高まり広がれば要求が実を結ぶ政治情勢にあります。また、署名にご協力頂いていない先生は、ぜひご協力をお願いします。

最後に、お知らせいざや勤務医の先生方で、まだ協会に入会されていない先生がおられましたら、ぜひ入会を勧め上げて下さるようお願い申し上げます。



集会が終わりデモに移る役員ら(左から宮本氏、山上氏、小山氏) = 3日、大阪市内

この秋から連続して行われる自治体選挙の立候補者として、長尾淳三東大阪市長候補(28日投票)・姫野浄大阪市市長候補(11月18日投票)・梅



矯正の咬合理論の義歯への応用について話す成田氏 = 9月29日、茨木市内

三島地区は「義歯に対する新しい考え方」をテーマに9月29日、茨木市民総合センターで講習

会を開き32人が参加した。講師は成田青重氏(高槻市開業・評議員)。成田氏は長年神奈川歯

科大学の矯正学の講習会に参加されており、咬合理論に基づいた矯正を学ばれた。この咬合理論を義歯に応用したというのがテーマであり、一般的に行われている人工歯配列ではなく、オーストラリアのスラブチェック教授が言われているシークエンシャルオルクルージュの考えに基づいた配列を解説した。

矯正に関わっていない先生方にはなじみのないセファロ分析を取り入れられ、咬合平面・咬合高径・下顎前歯の歯軸はこ

れを参考にしている。義歯では技工所に任せれば必ずつけられるスピーカーブも、II級の咬合が深い人以外はつけない。長年義歯で困っておられ、歯科医師に不信を抱いている婦人の症例が取り上げられた。この方法で製作後、穏やかな顔になっただけでなく、身だしなみまで気を遣うようになったとの説明が印象的だった。最後に「義歯は技工士任せではいけないよ」と指摘され、耳が痛い話ではあった。(高槻市・谷聡)

府民集会に3600人が参加 暮らし・福祉優先の政治求める

「許すな！テロ特措法延長・新法の制定 変えよう！大阪から政治の流れを」をスローガンに3日、大阪市北区の扇町公園で緊急の大阪府民大会が開かれ、協会から山上紘志副理事長・小山栄三理事・宮本辰雄監事・

事務局長あわせて15人が参加した。この集会は安保破棄大阪実行委員会と国民大運動大阪実行委員会が共催したもので、府民から3600人が参加した。

会に11万6千人が集まり教科書検定が見直されるなど、国政を揺り動かすような事態が起こっている。大阪からも全国に向けて、政治の流れを変えようという「たかひを」と開会挨拶した。

日本共産党の宮本たけし元参院議員が国会情勢を報告。「参議院で与野党が逆転した今、構造改革路線から暮らし・福祉優先に転換するため、みんなで一緒に声をあげて大阪から新しい政治の流れを広げよう」と呼びかけた。

この秋から連続して行われる自治体選挙の立候補者として、長尾淳三東大阪市長候補(28日投票)・姫野浄大阪市市長候補(11月18日投票)・梅

田章二府知事候補(来年1月27日投票)が挨拶し、勝利へ向けて全力をあげる決意を述べ、参加者は大きな激励の拍手を送った。

また、新婦人府本部・大阪民医連・大阪自治労連の代表がそれぞれの団体の活動を報告し、三つの選挙で新しい政治の流れを大阪からつくるため奮闘する決意を述べた。参加者は集会宣言を採

択し、「自衛隊はインド洋・イラクから撤退せよ」「後期高齢者医療制度を中止・撤回せよ」とシュプレヒコールをあげデモ行進した。

三島地区は「義歯に対する新しい考え方」をテーマに9月29日、茨木市民総合センターで講習

東大阪・八尾・柏原地区 長尾淳三氏を再推薦 政策協定の継続を確認

東大阪・八尾・柏原地区は、10月28日投票で行われる東大阪市長選挙において、前回市長選挙で政策協定を結んだ長尾淳三氏を再度推薦すること

を9月28日の地区役員会で決めた。今回の選挙は、9月市議会が不信任決議が採決され市長が失職したことによるもの。地区役員会では、今回の長尾氏の推薦について

長尾氏が①一般会計から繰り入れを府下で一番の伸び率として国民健康保

険料の抑制のため努力したこと②介護保険の減免制度を改善し対象者を増やしたこと③24億円の上下水道庁舎の建設中止④同和予算の1億8千万円の削減⑤次の予算で乳幼児医療費助成制度の対象年齢を就学前まで引き上げる予定で準備に入っていたこと――など、無駄な開発・同和予算を削減し、市政の基本方針を医療・福祉優先に切り替えてきたこと、こうした基本方針のもとで組んだ予算を99・9%の賛成で可決した長尾市政1年間の実績を確認した。

今回、長尾氏が失職に至った経緯については、地区から東大阪明るい会に状況の説明を求め、同会から①不信任を提出した自民・公明・一部のリベラル(民主系系派)も含め、市長提案の予算が99・9%の賛成で可決したこと②長尾氏が公約実現のために奮闘中で何の失策も無い中で不信任であったこと③不信任決議後に行われた市会議員

【前回選挙で結んだ政策協定の概要】
● 歯科医療の提供体制を充実させます。市民健診の拡充、中小企業事業所歯科健診を実施します。
● 乳幼児医療費助成制度については、通院の対象年齢を就学前までに引き上げます。
● 市民の暮らし・医療・福祉の充実を優先し、不要不急の公共事業については、計画の見直しや施策を凍結します。
● 同和行政を終結させます。

選挙で議会の勢力図が変わり、不信任決議を可決した勢力が不信任に必要な4分の3を確保できなかったこと――などが報告された。

今回の不信任が道理のない決議であり、本来なら長尾氏との政策協定の内容がさらに実現されていたとして、同地区は、協会として掲げる要求実現のために長尾氏の推薦と政策協定の継続を確認した。

今後、協会は、保団連10万人会員と共に医療改善運動を旺盛に進め、頼りになる協会をめざして活動を進めていきます。

最後に、お知らせいざや勤務医の先生方で、まだ協会に入会されていない先生がおられましたら、ぜひ入会を勧め上げて下さるようお願い申し上げます。

最後に、お知らせいざや勤務医の先生方で、まだ協会に入会されていない先生がおられましたら、ぜひ入会を勧め上げて下さるようお願い申し上げます。

求人

ハーモニックにおまかせ下さい

歯科医師 衛生士 助手 技工士

優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。

ホームページ <http://harmonic-net.co.jp/index.html>

24時間受付

お気軽にお電話下さい

株式会社 **ハーモニック**
(和田精密グループ)

フリーコール イーレごと
TEL0800-1114510
FAX06-6393-3232

e-mail: osigoto@teeth.co.jp

担当: 下田

532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F

有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般-27-06-0054